

第 17 章 確認問題

以下の問 1～問 11 について正しい文には○、誤りの文には×を解答用紙に記入してください。

1. 療養指導を実施すれば、対象者は糖尿病や糖尿病療養指導の理解ができ、糖尿病療養を実行・継続することができる。
2. 療養指導の評価の意義は、5つあり、自己管理の成果を、患者とともにフィードバックすることで、患者の自己効力感（セルフエフィカシー）や主体性を高めることができる、も含まれている。
3. 評価の対象は、指導対象者、指導者である。
4. 評価方法として、①観察法、②記述法、③口頭試問、面接、④主観的評価法と客観的評価法、⑤相対的評価と絶対的評価がある。
5. 指導において、形成評価は指導後に行われる。
6. 食後 2 時間血糖値の定義は、食事が終了して 2 時間後の血糖値のことである。
7. 合併症予防のためにも、血糖のほか、体重、血圧、血清脂質管理は大切であることを指導対象者が理解しているかを確認することは重要である。
8. 長年、インスリン注射を行っている指導対象者に関しては、インスリン注射手技は確認しなくてよい。
9. 治療満足度質問表として DTBQ がある。
10. ストレスで飲酒を多く飲んでも、毎日でなければ仕方ないので認める。
11. 医療費の急騰は社会問題となっており、糖尿病の占める比率は 2.98%に達しているため、合併症予防は医療経済学の面から急務である。
12. クリニカルパスは「落ちのない確実な指導が行える」「患者や家族が計画を理解して参加できる」「入院期間の短縮が図れる」などメリットばかりのツールである。

問 13～15 の文章の空欄に適切な数値を答えて下さい。

13. コントロール状態・臨床所見として、合併症の進展を阻止するための目標値は
空腹時血糖 ①()mg/dl 未満、食後 2 時間血糖値 ②()mg/dl 未満、
HbA1c 値 ③()% 未満を達成している、あるいは近づいている。
14. 血圧は、収縮期血圧 ④()mmHg 未満、拡張期血圧 ⑤()mmHg
未満を目標にする。
15. 血清脂質は総コレステロール ⑥()mg/dL 未満、LDLコレステロール
⑦()mg/dL 未満(冠動脈疾患がある場合 ⑧()mg/dL 未満)、
中性脂肪 ⑨()mg/dL 未満(早朝空腹時)、HDLコレステロール
⑩()mg/dL 以上を目標にする。